



1954 ~ 2020

1954



(昭和29年)
1954

市政施行、鳥栖市発足▼
初代市長に海口守三氏
工場誘致条例制定、積極的な企業誘致が進む

合同調印式

(昭和31年)
1956

鳥栖小学校第2分校
(鳥栖北小学校)開校

(昭和33年)
1958

鳥栖市土地改良区設立

「御田舞」が県重要無形文化財に指定▼大字を廃止、新町名に

国道34号(永吉-轟木間)開通

(昭和34年)
1959

(昭和35年)
1960

鹿児島本線門司港一久留米間電化開通

(昭和36年)
1961



鳥栖駅での電化開通の式典

市消防本部、
市消防署設置

(昭和37年)
1962

第3代市長に原忠實氏▼河内ダム完成

鳥栖西中学校開校(麓・
旭中を統合)▼鳥栖基
山農業協同組合設立

市庁舎落成
(各支所を廃止)

県東部工業用水道事業
(第1期)が完成

1961

第2代市長に
安原謙市氏

国立九州工業技
術試験所(現在の
産総研九州セン
ター)開設

(昭和38年)
1963

(昭和39年)
1964

(昭和40年)
1965

(昭和41年)
1966

(昭和42年)
1967

(昭和43年)
1968

(昭和44年)
1969

(昭和45年)
1970

(昭和46年)
1971

(昭和47年)
1972

(昭和48年)
1973

(昭和49年)
1974

(昭和50年)
1975

(昭和51年)
1976

(昭和52年)
1977

(昭和53年)
1978

(昭和54年)
1979

(昭和55年)
1980

(昭和56年)
1981

(昭和57年)
1982

(昭和58年)
1983

(昭和59年)
1984

(昭和60年)
1985

(昭和61年)
1986

(昭和62年)
1987

(昭和63年)
1988

(昭和64年)
1989

(平成元年)
1991

(平成3年)
1993

(平成5年)
1995

鳥栖市の人口が
5万人を突破

上水道通水式、宝満川
から市独自の取水開始

若葉小学校新設開
校▼鳥栖商工団地
の分譲開始

市庁舎落成

1967

安永田遺跡が国史跡に指定

鳥栖駅操車場(ヤード)廃止▼市民
憲章、市の花「ハナショウブ」制定

鳥栖高校野球部が甲子園初出場

鳥栖駅操車場(ヤード)廃止▼市民
憲章、市の花「ハナショウブ」制定

鳥栖小学校高田分校廃校

鳥栖西部工業団
「花の日」「鳥
の日」制定

「フッペルのピア
ノ」保存へ▼ス
ポーツ都市を宣言



昭和54年ごろの鳥栖ジャンクション
(大分自動車道は未完成)

教科「日本語」スタート



2015

熊本地震発生、被災地
へ職員を短期派遣

平成
28年
(2016)

教科「日本語」市立全小中学校
で本格スタート▼森林基幹道
九千部山横断線開通

藤木遺跡から青銅器（銅釦）の
石製鋳型が全国初出土▼鳥
栖市学校給食センター完成

九州国際重粒子線がん治療
センター開設▼久光製薬スプ
リングスが女子パラーボール
史上初の5冠達成

まちづくり推進センター開所
▼ドイツ・ツヴァイツ市と「友好
交流都市協定」を締結▼鳥栖
市の人口が7万人を突破

九州新幹線鹿児島ルート全線
開通、新鳥栖駅開業▼サガン
鳥栖がJ1昇格▼鳥栖西部第
二工業用地の分譲を開始



1996

鳥栖スタジアム落成

(1994)

平成
6年

(1996)

平成
8年

市の鳥「メジロ」制定
▼サッカーカラブ・
PJMフューチャーズ
が鳥栖市に移転

鳥栖駅東西連絡通路
「虹の橋」開通▼「鳥栖
スタジアム」が完成、こ
けら落としに約2万人
が来場

フューチャーズが解散、
「サガン鳥栖FC」発足▼
鳥栖北部丘陵新都市
(産業用地)の分譲開始

鳥栖北部丘陵新
都市「弥生が丘」
の住宅分譲開始

第5代市長に牟
田秀敏氏▼鳥
栖市の人口が
6万人を突破

鳥栖ジャンクショ
ンに高架橋「サガ
ンクロス橋」完成



熊本地震発生、被災地
へ職員を短期派遣

平成
29年
(2017)

鳥栖市と吉野ヶ里町、基山
町、上峰町、みやき町の1市
4町で、マイナンバーカー
ドを利用した各種証明書の
コンビニ交付を開始

平成
30年
(2018)

鳥栖市への進出企業数
が200社に到達

令和
元年
(2019)

駅前不動産スタジアム
の塗装改修工事完了

令和
2年
(2020)



証明書のコンビニ交付開始



塗装改修後のスタジアム外観



新鳥栖駅を出発した一番列車

2011

弥生が丘小学
校新設開校

第6代市長に
橋本康志氏

勝尾城筑紫氏遺跡が国史跡に指定
▼佐賀県立九州シンクロトロン光研
究センター開設▼グリーン・ロジス
ティクス・パーク鳥栖の分譲開始▼
鳥栖貨物ターミナル駅完成

平成
20年
(2008)

平成
19年
(2007)



グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖分譲開始

平成
18年
(2006)

福岡県西方沖地
震発生、鳥栖市は
震度5弱を観測

平成
17年
(2005)

鳥栖プレミアム・ア
ウトレットが開業

平成
16年
(2004)

鳥栖商業高校野
球部が、夏の甲子
園で県勢としては
9年ぶり3回目の
ベスト8進出

平成
15年
(2003)

鳥栖ジャンクショ
ン

平成
13年
(2001)

に高架橋「サガ
ンクロス橋」完成

2006

グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖分譲開始

平成
9年
(1997)

フューチャーズが解散、
「サガン鳥栖FC」発足▼
鳥栖北部丘陵新都市
(産業用地)の分譲開始

鳥栖北部丘陵新
都市「弥生が丘」
の住宅分譲開始

第5代市長に牟
田秀敏氏▼鳥
栖市の人口が
6万人を突破

鳥栖ジャンクショ
ンに高架橋「サガ
ンクロス橋」完成

平成
10年
(1998)

平成
11年
(1999)

平成
13年
(2001)

平成
14年
(2002)

平成
15年
(2003)

平成
16年
(2004)

平成
17年
(2005)

平成
18年
(2006)

平成
19年
(2007)

平成
20年
(2008)

平成
21年
(2009)

平成
22年
(2010)

平成
23年
(2011)

平成
24年
(2012)

平成
25年
(2013)

平成
26年
(2014)

平成
27年
(2015)

平成
28年
(2016)

平成
29年
(2017)

平成
30年
(2018)

令和
元年
(2019)

令和
2年
(2020)